第5編 地区別将来展望

(1) 石巻地区

人口の推移

○人口の推移 ○産業人口の推移 140,000 70,000 120,000 60,000 100,000 50,000 80,000 40,000 60,000 30,000 40,000 20,000 10,000 20,000 ******** High to the ── 総人口 ──0~14歳 ──15-64歳 ──65歳以上 -第1次産業 -第2次産業 ----第3次産業

主要産業	水産業、パルプ・紙製造業、木材・木製品製造業、鉄鋼業				
特産品	石巻やきそば、金華サバ、牡蠣				
施設	石巻市防災センター、石巻市ささえあいセンター(ほっとお~る)、石 巻市立病院、石ノ森萬画館、石巻市複合文化施設(マルホンまきあーと テラス)、石巻市運動公園(セイホクパーク)石巻南浜津波復興祈念公 園、震災遺構 門脇小学校				
文化	石巻市渡波獅子風流(市指定無形民俗文化財)、無形民俗文化財(市指 定無形民俗文化財)				





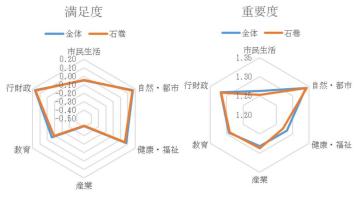


○満足度調査(石巻地区抜粋)

※全体の平均と比較し、満足度が低

(、重要度が高いものを抜粋 1.5 1.4 1.3 重要度 が高いものを抜粋 1.3 重要度 1.1 回書館、文化地路の登画・未来 皮の公書対策 での公書対策 での公書が表す <l

○分野ごとの満足度・重要度



- 市の平均と比較し、公害対策や中心 市街地、図書館の整備などを課題と 認識している。
- 満足度は、市の平均との開きはあまりない。
- 市民生活分野と健康・福祉分野で重要度が低く、産業分野では高い傾向。

施策展開の方向

● 全体平均 ○ 石巻地区

- 豊かな地域資源を活かした交流人口の拡大、移住・定住の促進を図り地域コミュニティ の存続に努めます。
- 空き店舗の有効活用などによる中心市街地の活性化を図ります。
- 地域包括ケアを推進し、安心して暮らせる地域づくりを進めます。

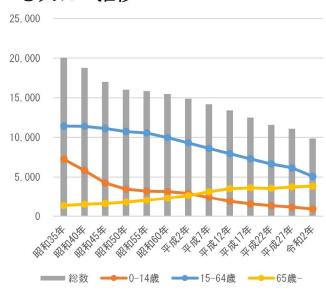
全設問の平均値

- 計画降雨に対応する雨水排水施設の能力確保を図ることにより安全なまちづくりを推進 します。
- 漁獲高の向上、担い手の確保を図り、基幹産業である水産業の活性化を図るとともに、 関連施設について整備を推進する必要があります。
- 企業誘致を推進し、地元雇用の創出及び地域経済の活性化を図ります。
- 豊かな地域資源を活用した観光事業を推進し、観光交流人口の増加による地域の活性化を推進します。
- 創造的な漁業・養殖生産体制の確立が期待される陸上養殖の普及促進を図ります。

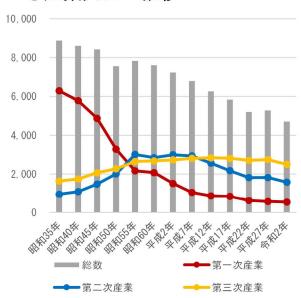
(2) 河北地区

人口の推移

○人口の推移



○産業人口の推移



主要産業	農業、水産業		
特産品	河北せり、べっこうしじみ、長面カキ、サバだしラーメン		
施設	道の駅 上品の郷、河北総合センター「ビッグバン」、追波川河川運動公 園、震災遺構 大川小学校		
文化等	<u>皿貝法印神楽</u> (県指定無形民俗文化財)、飯野川・後谷地・福地・釜谷 長面尾崎 法印神楽(市指定無形民俗文化財)		



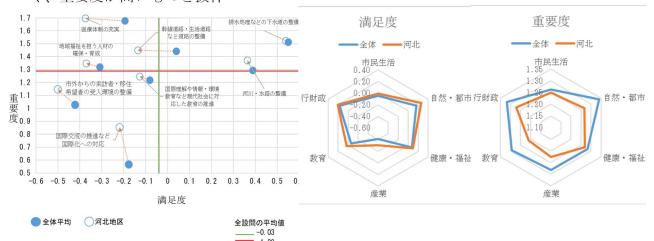




○満足度調査(河北地区抜粋)

○分野ごとの満足度・重要度

※全体の平均と比較し、満足度が低く、重要度が高いものを抜粋



- 市の平均と比較し、インフラ整備や 医療・福祉、国際交流を課題と認識 している。
- 全分野で市の平均よりも満足度が高い傾向。
- 全分野で市の平均よりも重要度が低く、 とくに教育分野で低い傾向。

- 既存の住宅地や新たに整備された復興団地ともに地域住民の交流や地域活動を支援し、 地域コミュニティの活性化を図ります。
- 医療と介護の連携推進、保育や子育て支援における安全安心など、様々な課題に総合的かつ包括的な支援が行える体制の強化に努めます。また、地域住民の自助・互助による健康づくりや介護予防への取組、身近な地域における支え合いの取組を推進します。
- 「河北総合センター(ビッグバン)」や「追波川河川運動公園」などの文化・スポーツ 施設の利活用促進を図り、交流活動やスポーツを通した関係人口の拡大や住民の健康の 保持増進を図ります。
- 身近な生活道路を整備するとともに地域性を考慮した公共交通体系を構築し、市民生活 や経済活動の利便性向上と地域の活性化を図ります。
- 地震や水害などの自然災害への対策を推進し、関係機関との連携の強化や自主防災組織の育成などによる防災体制の整備を促進するとともに、安心して暮らせる環境の構築を図ります。
- 林漁業の安定した経営体の育成と担い手の確保を図り、有害鳥獣による被害対策や環境への配慮に努め、地域産業の振興を図ります。
- 非可住地域について、土地の有効活用を図るために、農業用地などによる利活用を推進 し、地域の活性化に努めます。
- 道の駅「上品の郷」を経済・情報・交流の場とし、旧来の商店街と連携して地域のにぎ わいを創出し、地域振興と観光振興を図ります。
- 「皿貝法印神楽」をはじめとする各地域に伝わる「神楽」などの伝統芸能を地域独自の 文化として広く周知し、伝統文化の存続に努めます。

(3) 雄勝地区

人口の推移

○人口の推移 ○産業人口の推移 12,000 4,500 4,000 10,000 3,500 3,000 8,000 2,500 6,000 2,000 1,500 4,000 1,000 2,000 500 HIRIO OF ---総数 第 1 次産業 ── 総人口 ── 0~14歳 ── 15-64歳 ── 65歳以上 ━第2次産業 ━━第3次産業

主要産業	水産業		
特産品	ホタテ、かき、ほや、雄勝硯(国指定伝統的工芸品)、天然スレート		
施設	雄勝硯伝統産業会館、雄勝観光物産交流館(おがつ たなこや)、大須埼 灯台、雄勝地区健康づくりパーク		
文化等	雄勝法印神楽(国指定重要無形民俗文化財・県指定無形民俗文化財)、 おめつき(県指定無形民俗文化財)、伊達の黒船太鼓		



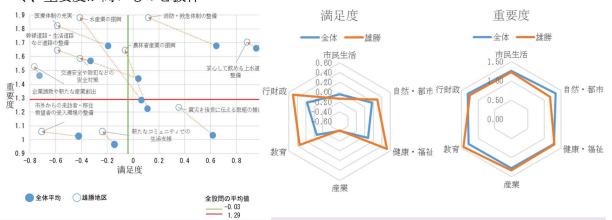




〇満足度調査 (雄勝地区抜粋)

○分野ごとの満足度・重要度

※全体の平均と比較し、満足度が低く、重要度が高いものを抜粋



- 市の平均と比較し、道路整備や1次 産業、消防・救急体制を課題と認識 している。
- 多くの分野で市の平均よりも満足度が高い。
- 自然・都市分野での重要度が低く、教育分野でとくに高い。

- リアス式海岸特有の雄大な海岸景観や山間部の豊かな自然環境、豊富な特産品など豊かな 地域資源、みちのく潮風トレイル、海岸線の美術館、大須埼灯台などの観光資源を活かし た交流人口の拡大、情報発信や資源の有効活用による移住・定住の促進を図り地域コミュ ニティの存続に努めます。
- 市内他地区へのアクセスがしやすい、地域のニーズを踏まえた持続可能な地域公共交通体系を形成します。
- 住民の生活や交流人口の周遊に関わる道路網の整備促進を関係機関に働きかけ、住民の利便性向上や地域の活性化を図ります。
- 地震や水害などの自然災害に対応するため、関係機関との連携を強化し、自主防災組織の 育成などによる防災体制の整備を促進するとともに、安心して暮らせる環境の構築を図り ます。
- 地域の医療ニーズに対し柔軟に対応できる仕組の構築や高齢者・障害者・子どもや子育て世代など、すべての人が健康で安心して暮らすことができるよう、医療・介護・福祉分野の関係機関と連携し、共に支え合う仕組づくりを推進します。
- 豊かな森と海の恵みに育まれたホタテ、カキなど新鮮な地場産品の地域ブランドの確立や 高付加価値化を図り、地域基幹産業である水産業の振興や水産業の担い手確保に努めます。
- 持続的に自然資源を活用できるよう、有害鳥獣対策を実施し、農産物や樹木等の食害低減に努めるとともに、自然環境の保全活動などを推進します。
- 古くからの伝統を誇る雄勝硯や天然スレート等「雄勝石」を、地域観光の活性化を図る材料として活用しながら、併せて雄勝石産業を支える担い手を確保・育成し、貴重な地域資源としての活用を図ります。
- 「雄勝法印神楽」や名振の「おめつき」「伊達の黒船太鼓」などの伝統芸能を継承するための活動を支援するとともに、地域独自の文化として広く周知し、伝統文化の存続に努めます。
- 雄勝地域拠点エリアである道の駅「硯上の里おがつ」を経済・情報・交流の中心とし、地域のにぎわいを創出することで地域振興と観光振興を図ります。
- 雄勝ガーデンパーク推進計画をはじめとした移転元地等利活用推進事業として、市民公益活動団体や地区会と連携し、災害危険区域内の低平地を活用したサクラ等の植樹や薬草等の栽培、農業利用による北限のオリーブ及びワイン用ブドウ等の栽培による緑化を促進し関係人口及び交流人口の拡大を図り、新たな特産品の開発も視野に入れ、若者と高齢者の雇用の創出を図ります。

(4) 河南地区

人口の推移

○人口の推移 ○産業人口の推移 25,000 12,000 10,000 20,000 8,000 15,000 6,000 10,000 4,000 5,000 2,000 *********** ※人口 → 0~14歳 → 15-64歳 → 65歳以上 ■ 総数 第 1 次産業

地区の特色

主要産業	農業
特産品	米、大豆、大麦、キュウリ、トマト、イチゴ
施設	齋藤氏庭園、遊楽館、かなんパークゴルフ場、旭山体験農園、旭山農業 体験実習館(コロボックルハウス)、河南中央公園、河南水辺の楽校
文化等	河南鹿嶋ばやし、大沢南部神楽、和渕法印神楽、鹿又法印神楽、須江獅 子舞(市指定無形民俗文化財)







━━第2次産業 ━━第3次産業

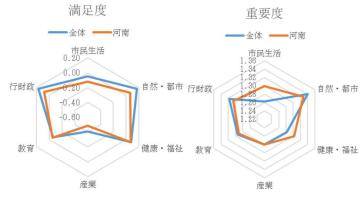
全設問の平均値

○満足度調査 (河南地区抜粋)

※全体の平均と比較し、満足度が低く、重要度が高いものを抜粋



○分野ごとの満足度・重要度



- 市の平均と比較し、とくに道路や歩 道の整備、公共交通を課題と認識している。
- 多くの分野で市の平均よりも満足度が低い。
- 市民生活や健康分野で重要度が高い傾向。

施策展開の方向

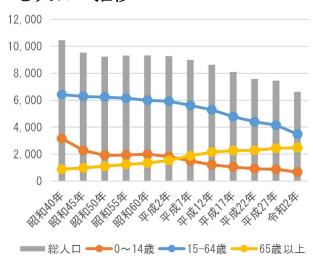
● 全体平均 河南地区

- 「遊楽館」「かなんパークゴルフ場」「旭山」や「旭山農業体験実習館(コロボックルハウス)」などについて、市内だけではなく、市外からの利用者が増加するよう、施設のメリットを広くPR し、多くの人々との交流の活性化や交流人口の増加を図るとともに、市民のニーズにあった運営に取り組みます。
- 石巻河南道路の整備については、早期の整備完了に向けて、関係機関と協力し、整備を推進します。
- 今後の人口動向を的確に把握しながら、持続可能な公共交通体系の構築や生活道路の整備 を促進するとともに、市民ニーズに対応した都市機能の整備を推進します。
- 地震や水害などの自然災害に対応するため、関係機関との連携を強化するとともに、自主 防災組織の育成などを通して、安心して暮らせる環境の構築を図ります。
- ほ場整備事業により、優良農地を確保するとともに、用水・排水施設の整備などをさらに 進めながら、効率的な営農と低コスト・高品質・高生産性の農業を実現し、安定した農業 経営の確立に取り組みます。
- 農業の担い手の確保や販路拡大を図り、基幹産業である農業の振興を推進します。
- 地域住民の自助・互助による健康づくりや介護予防、身近な地域における支え合いの取組 を推進します。
- 文化・スポーツ・交流施設を活用した多世代交流やコミュニティ活動を推進し、地域の活性化と伝統や文化の継承に取り組みます。

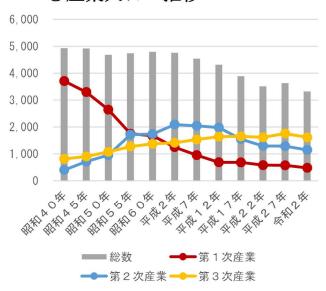
(5) 桃生地区

人口の推移

○人口の推移



○産業人口の推移



主要産業	農業
特産品	米、小ネギ、ガーベラ、桃生茶、桃生牛
施設	桃生農業者トレーニングセンター、桃生文化交流会館、桃生植立山公園、 桃生武道館
文化等	寺崎の法印神楽(県指定無形民俗文化財)、樫崎法印神楽(県指定無形 民俗文化財)、寺崎のはねこ踊(県指定無形民俗文化財)、神取給人町 法印神楽(市指定無形民俗文化財)

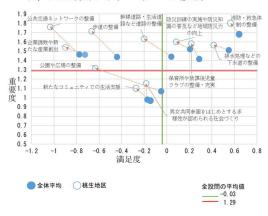




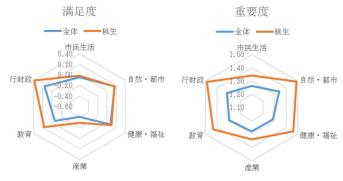


〇満足度調査 (桃生地区抜粋)

※全体の平均と比較し、満足度が低く、重要度が高いものを抜粋



○分野ごとの満足度・重要度



- 市の平均と比較し、公園や広場・道路の整備、公共交通を課題と認識している。
- 教育や行財政分野で市の平均よりも満足度が 高い。
- 全ての分野で市の平均よりも重要度が高い。

- 人口減少や少子高齢化に対応するため、多世代交流や地域住民同士のコミュニティ活動を 推進するためのイベント開催や地域拠点施設の適正な整備に努め、地域で支え合う仕組み づくりを積極的に進めます。
- 移住希望者の移住・定住につなげるため、情報発信や資源の有効活用を図るとともに、快適に日常生活を送れるよう生活基盤の整備や各種生活支援を推進します。
- 肥よくな大地を活かしたバランスの取れた農業、競争力の高い畜産業を展開し、そこから 産出される多種多様な農畜産物を活用し、耕地の有効活用や地域の活性化を図ります。
- 地域農業や農産物のブランド化、販路拡大を推進し、基幹産業である農業の担い手確保に 努めます。
- 地域性を踏まえた公共交通体系の構築を推進し、住民生活や経済活動の利便性向上と地域 内交流などの活性化を図ります。
- 三陸縦貫自動車道桃生豊里インターチェンジ、桃生津山インターチェンジの立地を活かした産業の活性化を図ります。
- 地域住民の自助・互助による健康づくりや介護予防、身近な地域における支え合いの取組を推進します。
- 「はねこ踊り」や各地区の「法印神楽」などの伝統芸能により地域活動を活性化すると ともに、交流人口を拡大し、住民のコミュニケーションの場の創出と地域間交流の充実を 図り、地域コミュニティの活性化や伝統文化の後継者育成や史跡などの活用を図ります。
- 地震や水害などの自然災害に対応するため、関係機関との連携を強化し、防災施設の整備や排水対策、自主防災組織の育成などによる防災体制の整備を促進するとともに総合防災対策の充実を図ります。
- 「桃生スポーツ施設」、「桃生植立山公園」などのスポーツ施設の利活用促進を図り、スポーツ活動の推進や交流活動を通じた関係人口の拡大及び住民の健康の保持増進を図ります。

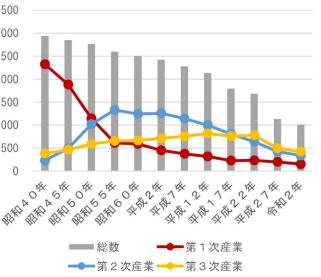
(6) 北上地区

人口の推移

○人口の推移 7,000 3,500 6,000 3,000 5,000 2,500 4,000 2,000 3,000 1,500 2,000 1,000 1,000 500 0

── 総人口 ── 0~14歳 ── 15-64歳 ── 65歳以上

○産業人口の推移



主要産業	農業、水産業
特産品	米、トマト、パプリカ、オリーブ、わかめ、こんぶ、ホタテ、しじみ
施設	白浜ビーチパーク、北上観光物産交流センター、にっこりサンパーク、 北上地区多目的広場・北上地区健康づくりパーク
文化等	女川法印神楽(市指定無形民俗文化財)、大室南部神楽(市指定無形民俗文化財)、神割崎、ヨシ原







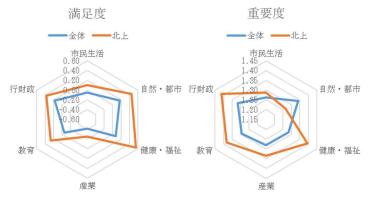
全設問の平均値

○満足度調査(北上地区抜粋)

※全体の平均と比較し、満足度が低 く、重要度が高いものを抜粋

1.8 企業誘致や新たな産業創出 1.7 1.6 公共交通ネットワークの 幹線道路・生活道路など 道路の整備 3 森林や河川、海などの 自然環境の保全・活用 1.5 重 1.4 度1.3 1.2 1.1 -1.3 -1.1 -0.9 -0.7 -0.5 -0.3 -0.1 0.1 0.3 0.5 満足度

○分野ごとの満足度・重要度



- 市の平均と比較し、道路の整備や公 共交通、自然環境の保全・活用を課 題と認識している。
- 全ての分野で市の平均よりも満足度が高い。● 自然・都市分野以外では、市の平均よりも重要度が高い。

施策展開の方向

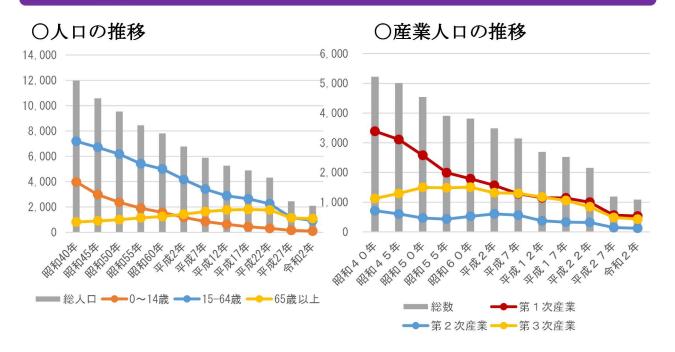
○北上地区

● 全体平均

- 豊かな地域資源の魅力を発信し、交流人口の拡大や移住・定住の促進を図るとともに、多世代交流の機会を増やし、若者がコミュニティの輪に入る取組を行なうことなどにより、地域コミュニティの活性化を推進します。
- 地区に居住している住民が快適に日常生活を送れるよう生活基盤の整備を推進し、安全安心に居住できる地域社会の構築を推進します。
- 安定した地域医療体制を維持するとともに、地域の医療ニーズに対し柔軟に対応できる仕組の構築や、医療・保険・介護・福祉の関係機関との連携を図り、共に支え合う仕組づくりを推進します。
- 住民の利便性向上や定住促進を図るため、市内他地区へのアクセスがしやすく、地域の ニーズを踏まえた持続可能な地域公共交通体系を形成します。
- 農林水産業の産業基盤を確立し、生産環境の改善と経営体の育成を図るとともに、生産性の 高度化と生産品の高付加価値化などを図ります。
- 非可住地域について、土地の有効活用を図るために、農業用地などによる利活用を推進し、 地域の活性化に努めます。
- 全国的に有名な北上川の「ヨシ原」や「神割崎」などの観光資源と豊富な農林水産物など を活用して地域産業の確立を図るとともに、写真セミナー「太平洋写真学校」など自然を 題材としたイベントを企画することで都市住民との交流を図り、豊かな自然環境の活用を 促進します。
- 持続的に自然資源を活用できるよう、住民による自助、地域による共助、行政による公助の 構築を図り、持続的に有害鳥獣対策を推進します。
- 「女川法印神楽」や「大室南部神楽」などの伝統芸能を地域独自の文化として広く周知 し、伝統文化の存続に努めます。

(7) 牡鹿地区

人口の推移



主要産業	水産業		
特産品	わかめ、かき、ほや、ほたて、銀鮭、鯨		
施設	十八成浜ビーチパーク、観光物産交流施設、牡鹿半島ビジターセンター、 おしかホエールランド、御番所公園、おしか家族旅行村オートキャンプ 場、牡鹿交流センター、牡鹿地区健康づくりパーク		
文化等	金華山、金華山詣・金華山道(日本遺産「みちのくGOLD浪漫」)、金華 山龍踊り、持福院観音堂(県有形文化財)十一面観音像(国有形文化 財)、木造聖観音立像(県有形文化財)、七福神舞、鯨歯工芸品		





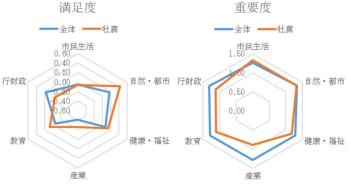


○満足度調査(牡鹿地区抜粋)

※全体の平均と比較し、満足度が低く、重要度が高いものを抜粋

1.9 消防・救急体制の整備 災害発生時の応急・復旧体制 (ライン ラインや食糧確保など) の構築 1.8 0 1.7 幹線道路・生活道路な 1.6 ど道路の整備 1.5 震災を後世に伝える取組 • 重_{1.4} 要_{1.3} 森林や河川、海などの 自然環境の保全・活用 1.2 1.1 -1.3 -1.1 -0.9 -0.7 -0.5 -0.3 -0. 1 0.1 0.3 0.5 満足度





- 全体平均 牡鹿地区
- 全設問の平均値 _____ -0.03 ____ 1.29
- 市の平均と比較し、道路や消防・救 急体制の整備、震災伝承、自然環境の 保全・活用を課題と認識している。
- 市の平均よりも自然・都市分野の満足度が高く、行財政分野が低い。
- 市民生活分野以外は市の平均よりも重要度が 低い。

- 住民主体で開催するコミュニティ活動や地域イベントの開催、地域で継承される文化活動などを支援し、地域コミュニティの継続を維持します。
- 住民の利便性向上や定住促進を図るため、地域のニーズを踏まえた持続可能な地域公共交 通体系を形成します。
- 移住希望者の移住・定住につなげるため、情報発信や資源の有効活用を図るとともに、地 区に居住している住民や移住者が快適に日常生活を送れるよう生活基盤の整備を推進し、 安全安心に居住できる地域社会の構築を推進します。
- 観光資源と豊富な水産物などを活用して地域産業の確立を図るとともに、三陸復興国立公園の立地を活かしたエコツーリズムによる都市住民との交流を図り、豊かな自然環境の活用を促進します。
- 金華山定期航路の就航など、より利便性の高い航路運航の確立に努めます。
- 単身高齢者の社会的孤立の解消を目指すとともに、高齢者が安心安全に暮らせるよう、保健・福祉におけるソフト事業の充実を推進します。
- 沿岸海域に広がる豊かな漁場を活用し、地場産品の地域ブランドの確立を行い、地域の基 幹産業である水産業の振興を推進します。
- 漁業者の経営安定化に向け、販路開拓、稚魚など放流事業を推進するとともに、後継者育成や新たな養殖事業の展開を推進します。
- 捕鯨文化を継承し、鯨食文化の振興を図ることにより、鯨肉に対する需要を高める取組を 推進します。